

第2回 保育実習に係る保育士養成校と保育所等との意見交換会 概要

開催日時：令和6年9月3日（火）

開催場所：藤沢合同庁舎5階大会議室

参加者：保育士養成校 7名、保育実習受入施設 46名

テーマ：①実習生への指導方法について ②実習日誌の多様な記録について

意見交換会内容紹介

テーマ1：実習生への指導方法について

<グループA>

学生は職場の雰囲気を見ているので、保育実習受入施設として、保育士になろうという気持ちを絶やさない指導の一つとして、園内の人間関係について考える必要がある。

<グループB>

実習生の実情と学校での実習生の姿をすり合わせしたところ、実習生のコミュニケーション力に課題があるという話になった。実習生の発信力が弱いのかと保育実習受入施設は思っていたが、学校では実習での気づき・疑問を教員へ話し、思いは持っているものの、発信するほどではないと学生が判断してしまうようだ。保育実習受入施設として、「どんなことが今日あった?」、「どんなことに困ったの?」などの具体的なオープンクエスションになるような聞き方をする必要がある。

<グループC>

学生は何もわからない中、実習に入り、子どもの名前を覚え、日誌を書き、環境構成、考察まで考える、学生はすごいことをしているんだなと保育実習受入施設も思っていく必要がある。コミュニケーションが苦手な学生が多い時代だからこそ、コミュニケーションの大切さを保育士が伝えていくことも大事である。実習生と保育士が話し合うことで、実習生自身が心躍り、たくさんこんな経験ができたということが心に残ることが保育士の道につながると思う。

テーマ2：実習日誌の多様な記録について

<グループD>

ドキュメンテーションを活用しながら、情報共有している園があった。そこでは、保育実習Ⅰの中でドキュメンテーション作りを課題とし、日中の時間の中で、実習生が子どもの姿を見て面白いと思ったところをテーマとし、写真を撮ってもらい、おやつ時間の後をワークの時間（ドキュメンテーション作成、30分間）と決めている。実習担当者と一緒に振り返る時間を取り、そこから見えてくる子どもの成長、発達がポイントとして出てくるので、そこを拾い上げ、関連付けながら話をし、振り返りを行っている。ドキュメンテーションの作成・考察を実習時間内にすることにより、実習日誌の記入の負担を軽くすることもしている。

<グループE>

時系列の書き方がコンパクトになっているが、時系列を書くことで日々の保育を振り返り、自分があの場面でどう保育をしていたか深まることもあるので、時系列の大切さを伝えていくことも必要である。

<グループF>

保育実習受入施設としては、実習生に子どもの視点、成長の一部を気づいてほしいこと、見てほしいことがあるが、日誌の形態によってその気づきを書くスペースが少ない。実習生とどうい会話をして、どういうふうに質問するかによって日誌の書き方は変わってくる。養成校の先生からは日誌について養成校の先生と相談して良いというお話をいただいた。

感想

- ・今回の研修では学生の声や養成校での指導の様子がしれてとても有益な時間でした。特に質問が出ない学生へのフォロー方法が見つかりとても参考になりました。
- ・実習生について、どの園も同じような悩みも持ちながらも、工夫されていることがわかり、取り入れてみたいことも多かった。保育士になりたいと思えるような楽しさや自信に繋がる実習になるよう今後も工夫していきたい。
- ・養成校の先生の困りごとや実習先の保育園での指導について話が聞けて良かったです。また、保育園側として指導方法に迷っていたことが解決できて良かったです。
- ・養成校側の意見を聞く機会がなかったため、非常に有意義な時間でした。学生が学校に戻ってからの指導や、提出された評価表、日誌の扱いなど知れたことで受け入れる実習園側としても同一のポイントで指導にあたれると思えました。他市との情報交換の場でもあり、休憩のとり方、ドキュメンテーション作成など早速園に戻り実習生に対し実践することができました。
- ・養成校教員として出席させていただきました。保育所等の先生方から、実習についてのお考えや実際のご指導について伺う機会は非常に少なく思います。先生方のご指導方法、実習生についてのご配慮を知り、学ぶことができました。
- ・実習生指導の大変さに限らず、学生が発信しやすい関わりの工夫や、保育を学ぶ視点づくりに繋がる取組みをお聞きすることができ、大変有意義な会でした。

